

# 各常任委員会の 主な質疑から

## 総務常任委員会

**出先機関の名称を県民にわかりやすいものとする**のことだが、「健康福祉センター」に関しては「保健所」という名称の方がわかりやすいという声が多い地域もある。このことについてはどのような議論がなされたのか。

健康福祉センターは、保健部門と福祉部門の連携を図るため、平成十六年度の組織再編において、保健所と支庁社会福祉課を統合し、設置したものである。

今回の出先機関の見直しにあたり、健康福祉部はもろろん、庁内でも議論を重ねた結果、設置から六年が経過し、保健・医療・福祉に関する総合相談を実施するなど、保健所の業務と福祉関係の業務を併せて実施していることから、県民にとって身近な機関になっていると考え、名称については現在のままが良いという判断をしたところである。

## 総合企画水道常任委員会

成田空港周辺地域共生財団の運用財産の枯渇が懸念されているが、今後の財団のあり方についてどのような検討がされているのか。

平成二十六年年度中には、運用財産が枯渇するのではないかと聞いている。

このため、本年度から、国・関係市町・空港会社と存続に向けた事務レベルの協議を進めており、年度内には具体的な方向性を出す予定である。

## 健康福祉常任委員会

千葉県インフルエンザワク

チンの流通状況はどうなっているのか。

県内の卸売業者におけるインフルエンザワクチンの在庫量は、十二月六日現在、成人接種量に換算して、約三十三万人分となっている。

また、全国的には国の需要予測を上回る量が確保されており、今シーズンにおいては、不足という状況は生じていない。

## 環境生活警察常任委員会

警視庁には子どもや女性を狙った犯罪等を専門に取り締まる「さくらポリス」というチームがあり、警視庁の宣伝に功を奏しているが、県警版の「さくらポリス」の体制と活動状況はどうか。

県警では生活安全総務課に、子どもや女性を対象とする性犯罪等の前兆とみられる、声かけつきまとい、公然わいせつ等を専門に取り締まる「特命捜査班」を設置し、これを統括する「子ども女性安全対策官」を置いている。

体制は、対策官以下四十四名であり、本年は十一月末までに、強制わいせつ、盗撮等で七十三名を検挙し、つきまとい等で百二十二人に指導・警告を行ったほか、犯罪被害防止の啓発活動にも取り組んでいる。

## 商工労働企業常任委員会

十二月九日に、第一回工業団地整備検討委員会が開催されたと聞いているが、今後どのような検討を行い、どのように整備につなげていくのか。

今後、工業団地整備検討委員会において、本県における工業団地の基本的な方向性について検討していただき、それを踏まえ、評価基準に基づき、整備候補地の絞り込みを行っていききたい。

来年度は、絞り込んだ候補地について、事業採算性や事業実施に向けた課題とその対応について検討した上で、できるだけ早期に整備箇所を決定していきたいと考えている。

## 農林水産常任委員会

「酪農のさ」とは県の施設として残すべきと思うが、移譲はもう決まっていますか。

現在のところ移譲先等を含めて結論は出ていない。

## 県土整備常任委員会

今回は指定管理者での管理を継続するが、移譲については、千葉県行政改革計画を受け、引き続き検討していく。

## 県土整備常任委員会

施工後三十数年経過した下水道の長寿命化修繕計画については、どのように進められているのか。

流域下水道は随時、改築修繕を実施しているが、中・長期的な事業費の縮減や平準化を図る必要があることから、国の支援制度を活用し、各事業主体において長寿命化計画を策定することとしている。

県の流域下水道は、平成二十三年度末を目前に、また、県内下水道実施市町村においても、二十三年の市町村が平成二十五年末を目途に策定することとしている。

## 文教常任委員会

平成十八年に発生した、現市川特別支援学校でのプール事故の和解勧告を受け、再発防止のための具体的な手立てを、今後、どのように行っていくのか。

和解成立後、ただちに各県立特別支援学校長に対し、障害の状態や発達の段階に即した指導計画の作成及び指導体制の構築、

プール指導中の教職員の役割の明確化と監視体制の強化、主治医との連携の強化などについて通知するとともに、校長会等で指導を徹底していく。

## 可決・認定・同意された議案

- ◆平成二十二年補正予算関係(五件)
  - ▽一般会計(二件)
  - ▽特別会計(三件)
- ◆条例の制定(一件)
  - ▽千葉県風俗案内業の規制に関する条例

## 議案提出

- ◆条例の一部改正(十三件)
  - ▽職員給与に関する条例等
  - ▽職員の給与に関する条例
  - ▽特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例
  - ▽千葉県行政組織条例
  - ▽外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例
  - ▽使用料及び手数料条例
  - ▽理容師法施行条例及び美容師法施行条例
  - ▽大気汚染防止法に基づき排出基準を定める条例
  - ▽千葉県立自然公園条例及び千葉県自然環境保全条例
  - ▽千葉県水道局企業職員の給与の種類及び基準を定める条例

## 可決された意見書・決議

- ▽北朝鮮の発砲事件に抗議し、毅然とした対処を求める決議
- ▽仙谷由人官房長官の発言に抗議する決議
- ▽朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることに反対する決議
- ▽就学支援金制度の改善を求める意見書
- ▽地方選挙における候補者に関する

千葉県土地造成整備事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例

- ◆その他(四十件)
  - ▽契約の締結(六件)
  - ▽損害賠償の額の決定及び和解
  - ▽当せん金付証券の発売
  - ▽指定管理者の指定(十七件)
  - ▽決算認定について
  - ▽公安委員会委員の任命
  - ▽収用委員会委員の任命(六件)
  - ▽土地利用審査会委員の任命(七件)

情報の充実等を図るための公職選挙法の改正を求める意見書

- ◆「千葉県体育・スポーツ振興条例」を可決

## 「千葉県体育・スポーツ振興条例」を可決

十二月定例県議会において、議員提案による「千葉県体育・スポーツ振興条例」が全会一致で可決されました。

この条例は、ゆめ半島千葉国体・千葉大会の開催を契機に、さらに体育及びスポーツの振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって県民の健康及び福祉の増進並びに活力ある

▽ロシア大統領の北方領土訪問に対し、毅然とした外交姿勢を求める意見書

- ◆「千葉県体育・スポーツ振興条例」を可決

地域社会の実現に寄与することを目的としたものです。

内容としては、県の責務とスポーツ関係団体等の役割、生涯スポーツの振興、子どもの体力向上と体育の充実、障害者スポーツの振興、競技力の向上、施設の整備及び充実等を規定したものと なっています。

## 平成23年2月定例県議会会期及び議事・委員会予定(素案)

月日	議事予定	開議予定時間
2月10日(木)	開会 知事提案理由説明	午前10時
11日(金)	休日のため休会	
12日(土)	土曜日のため休会	
13日(日)	日曜日のため休会	
14日(月)	議案調査のため休会	
15日(火)	//	
16日(水)	//	
17日(木)	質疑並びに一般質問	午前10時
18日(金)	//	午前10時
19日(土)	土曜日のため休会	
20日(日)	日曜日のため休会	
21日(月)	質疑並びに一般質問	午前10時
22日(火)	//	午前10時
23日(水)	//	午前10時
24日(木)	//	午前10時
25日(金)	委員会審査準備のため休会	
26日(土)	土曜日のため休会	
27日(日)	日曜日のため休会	
28日(月)	予算委員会開催	午前10時30分
3月1日(火)	//	午前10時30分
2日(水)	//	午前10時30分
3日(木)	常任委員会開催 (環境生活警察、農林水産)	午前10時
4日(金)	// (総合企画水道、県土整備)	午前10時
5日(土)	土曜日のため休会	
6日(日)	日曜日のため休会	
7日(月)	常任委員会開催 (総務、文教)	午前10時
8日(火)	// (健康福祉、商工労働企業)	午前10時
9日(水)	委員会予備日のため休会	
10日(木)	総合調整のため休会	
11日(金)	委員長報告等 採決 閉会	午後1時

\*本素案はおおよその日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議し最終決定します。

## 「予算委員会」を設置

2月定例県議会において、新年度予算及びこれに係る議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。

【委員長】	河上茂 (自民党)
【副委員長】	伊藤文治 (自民党)
	塚定良 (公明党)
【委員】	
自民党	酒井茂 (自民党)
	西田三十五 (自民党)
	内田悦 (自民党)
	松井井 (自民党)
民主党	田中明 (民主党)
	横堀喜一郎 (民主党)
公明党	赤間正明 (公明党)
共産党	三輪由美 (共産党)
市民ネット・社民・無所属	吉川洋 (市民ネット)